

三重県版事業仕分け（公開仕分け）傍聴者アンケート結果

平成 23 年 10 月 三重県総務部予算調整室

1 開催日

平成 23 年 9 月 17 日（土）～ 18 日（日）

2 場所

三重県総合教育センター

3 会場入場者数（人）

日 時	入場者数	備 考
9 月 17 日（土）	145	うち報道関係者 21、自治体関係者 79
9 月 18 日（日）	93	うち報道関係者 10、自治体関係者 57

【内訳】

男女別

	男性	女性	計
人数	212	26	238
割合	89.1%	10.9%	100.0%

お住まい

	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	県外	不明	計
人数	55	136	10	8	2	14	13	238
割合	23.1%	57.1%	4.2%	3.4%	0.8%	5.9%	5.5%	100.0%

年代別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	計
人数	1	7	41	78	71	24	16	238
割合	0.4%	2.9%	17.2%	32.8%	29.8%	10.1%	6.7%	100.0%

4 回答者数

39 人（回答率 16.4%）

5 回答者の内訳

男女別

	男性	女性	計
人数	32	7	39
割合	82.1%	17.9%	100.0%

年代別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
人数	0	0	10	8	13	8	39
割合	0.0%	0.0%	25.6%	20.5%	33.3%	20.5%	100.0%

お住まい

	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	県外	計
人数	6	23	1	2	2	5	39
割合	15.4%	59.0%	2.6%	5.1%	5.1%	12.8%	100.0%

Q1. 本日の「公開仕分け」の開催について、何から情報を得ましたか。(複数回答可)

	県政 だより	県HP	新聞	ラジオ	知人の 紹介	構想日本 HP	その他	計
人数	5	20	14	0	4	3	4	50
割合	10.0%	40.0%	28.0%	0.0%	8.0%	6.0%	8.0%	100.0%

その他 ・仕分け事業の対象職場(1)
・不明(3)

Q2. 県職員による事業に関する説明は、わかりやすかったですか。

	よく わかった	わかった	わかりづ らかった	どちらで もない	不明	計
人数	7	21	8	2	1	39
割合	17.9%	53.8%	20.5%	5.1%	2.6%	100.0%

【理由】

「よくわかった」

・仕分け人的はずれな質問にもよく答えてみえた。担当者によって大きく差があった。

「わかった」

・説明しようとする姿勢がうかがえた。質問に対して全て事前に準備しきるのは無理な中でかなり準備されていた。

・具体的な事例や数字をあげて説明できていた。

・説明があれば事業の内容がわかった。(事業シートのみでは具体的に何をしているのかはわからなかった)

・想像ではあるが具体的な事業のイメージができた。

「わかりづらかった」

・仕分け人の質問に答えられない部分があった。

・答えられなかった。わからないというのがあったから。

・一見よくわかるようなのだが肝心のところがよくわからない。

・言い訳的な説明が多い。質問以上の回答がない。

・描写が不適切。具体的すぎて“要は？”が不明。

「どちらでもない」

・人によりマチマチ。質問に対する回答が的を得ないケースあり。

Q3. 仕分け人の質問や指摘は、わかりやすかったですか。

	よく わかった	わかった	わかりづ らかった	どちらで もない	不明	計
人数	6	19	8	5	1	39
割合	15.4%	48.7%	20.5%	12.8%	2.6%	100.0%

【理由】

「わかった」

・意欲をもってその場に臨んで、かなりはっきりした発言が多かった。但し、エキサイトしすぎて仕分け人自身が目的を失った質問も散見された。

・ちゃんと不明点の分解をしていた。

・質問した後、何故この質問をしたのか、何を知らなかったのか補足があったから。ただ

回答する職員は後でそれを知るので質疑がかみ合わない時があった。

「わかりづらかった」

- ・一番大きな課題があるのに、それに触れなかったり、そこまで及ばなかった。
 - ・「個人的な好悪感情を発散したいのか？」と思えた方も。
 - ・早口で言葉が不明瞭な方がみえた。
- 「どちらでもない」
- ・現実を把握しないまま想定質問が結構みられた。
 - ・ さんのようにわかりやすい人もいたが、何を聞きたいかわからない人がいた。(質問の回答になっていない答えでもそのまま流してしまっている)
 - ・人によりマチマチ。特に県民委員。
 - ・ 土地開発公社基金の例:基金本体についての的を絞って聞くべき。公社の問題中心だった。

Q4 .「公開仕分け」に用いた資料は、わかりやすかったですか。

	よく わかった	わかった	わかりづ らかった	どちらで もない	不明	計
人数	3	21	11	2	2	39
割合	7.7%	53.8%	28.2%	5.1%	5.1%	100.0%

【理由】

「わかった」

- ・見慣れるまで大変だったが、よく整理されていた。
- ・想像ではあるが具体的な事業のイメージができた。

「わかりづらかった」

- ・細かく説明しようとして、行政的なマニアックな資料になっている傾向がある。
- ・特にポイントとなるところはわかり易い表現にした方がよい。
- ・事業の趣旨や想いは記述されているが、具体的な内容は読んだだけでは分かりにくかった。事業内容でそれぞれの事業費を含め詳しく書いて頂けたら・・・。
- ・長い。比較参考値の妥当性が不明。もう少し指導してほしい。

Q5 . 今回の「公開仕分け」で関心を持たれた事業がございましたらご記入ください。

【事業名】

- ・若者ワーキングサポート事業費
- ・ニートサポート事業費
- ・若者自立総合支援事業費
- ・地域資源ブランド力向上支援事業費
- ・社会福祉施設職員研修事業費
- ・キャリア教育バージョンアップ事業費
- ・美し国三重市町対抗駅伝開催事業費
- ・浄化槽設置促進事業補助金
- ・公営住宅建設費
- ・伝統産業・地場産業活性化支援事業費
- ・地方バス路線維持確保事業費

- ・交通安全研修センター管理運営費
- ・海外から「訪れる必然性」を生み出すブランディング戦略事業費
- ・市町と県の関係の整理が必要と思われる事業

Q6 . 個別の事業の仕分け結果について、ご意見がありましたらご記入ください。

「地域資源ブランド力向上支援事業費」

- ・ 中小の業者を優先してはどうでしたか。でもすごくお金かかるんですが・・・伊賀牛がブランドではないのはふしぎでした。工芸品は入らないんですか？
- ・ Q6 Q7に共通して言える事ですが

議論は総合的によいものだと思います。担当者も仕分け人もそれぞれ真剣さを感じました。

国も含め、この事業仕分けについて思うことは、まず圧倒的に仕分け人有利の前提で議論が進められること。具体的には例えば、本日のブランド力向上の効果にかかる議論でコーディネーターである人が、公平な立場をとらず、仕分け人の一人と間違えるような発言ととれるところが多々みられました。どなたかが客観性をもって議事を進めるべきかと思います。もう一つ担当者にはひたすら根拠とデータが求められ、これは必要なところと感じましたが、仕分け人の発言には何ら根拠もデータも求められないところに議論が誤った方向へいくのではないかという不安を感じます。例えば講師の報酬の金額で「リーマンで売上げが落ちたとは僕は思わない」「僕は5万円は高いと思う」とさざっと言い、全体の空気もそうになっていくシーンがありましたが、この発言は仕分け人の個人感覚で根拠もデータも示されてません。地域団体商標とみえブランドのかかわりもありましたが、その時も仕分け人の中では地域団体商標は正統性があるものとして、なぜ正統性があるのかを説明せず、それとのかかわりを考えるのが当然という前提で進んでいます。どうしても仕分け人にアドバンテージのある会場でないといけないのなら、こうした仕分け人の発言に正当、妥当性があるか客観的チェックが後日必要でないかと思います。

議論全体としては、すばらしいものですが、ここまで細かくデータを解析しないとイケないとなると事業にかけるパワーが相当なものになると思います。これが行政の全事業に必要となると、おそらく実施する事業数はかなりへっていき、特定の対象にしか手がかけられない状態がうまれるように思います。議論そのものの客観的評価が必要だろうと思います。

「交通安全研修センター管理運営費」

- ・ センターを利用したことがあります。大変貴重な経験が出来たので、今度子どもをつれていこうかと思っています。ただ研修センターのターゲットが子どもなのかなと思うところがあったり、なんとなく位置付けがわかりにくかったように思いました。もう少し、このセンターがなかったら、どんな影響が出るのかを分析して強化する機能を、他に実施する事業の整理をしたら、より良い施設になるのかなと思います。

「外国人児童生徒教育推進事業費」

- ・ そもそも議論がない。「子ども」「教育」というキーワードにより、思考が止まって

いて残念。外国人労働者の問題や外国人犯罪など大きな枠組みでの議論が必要。

「三重の観光プロデューサー設置事業費」

- ・長い期間でのアドバイスが必要である。ころころ人が変わっては市町がやりづらいつと思う。

「公営住宅建設費」

- ・県や市町が直接管理運営するコストは民間に比較して高くなる。廃止の方向に進めて家賃補助にシフトすべき。(公営の場合の維持費は家賃でまかなえないはず。)
- ・4倍も応募者がいると知り驚きました。低所得者から順に入れるようにして欲しいと思いました。

「土地開発基金積立金」

- ・「不要」と判断するなら貸付残高をどう回収するのか等々、基金そのものの議論すること。

「全体」

- ・常識的な判断多く、行政と違う視点での大胆な判断が少ないように思う。

Q7.「公開仕分け」の手法について、ご意見があればご記入ください。

- ・録画でも見られるならもう1度見てみたいです。
- ・机があるとありがたいです。
- ・県の事業に対して県民に関心をもってもらうには有効だと思う。
- ・何処でも構想日本なんだと思いました。一つのヒナ型なのかな。
- ・仕分けの趣旨に関して担当課の職員を追い込むことが目的かと感じられる場面もあった。
- ・この程度の議論が県庁内部で出来ていないとしたら情けない話と思うが、外部のパフォーマンスに頼らざるを得ないなら、もっと県民の方の目にふれるように改善すべき。
- ・行政課題の解決の方法については、どうしても内々に問題課題を処理・解決したいという心理が働きますが、ケースによっては公開すること自体が解決につながる場合もあるのだと思います。もっと県民が税の使い方へ意識を向けるように、様々な過程を「公開」していくことは大切だと思います。
- ・なぜこのような事業が公開仕分け対象事業になっているのか理解できない事業があった。県民委員は応募者の中からどのように選ばれたのか知りたい。
- ・実施要項どおりに実施されているのでしょうか。コーディネーターの役割として、公平性を保ちながら時間設定も含めコーディネートする必要があり、疑問が残ります。評価結果は、一人ひとりの評価が何故オープンにされないのでしょうか。
- ・1時間以上かけておこなう事業というものがあるのはどうか。1つの事業についてやす時間はほぼ同じでないと公平性にかける。コーディネーターはそれもコーディネートする必要があり、仕分け結果にも影響するので、いかがなものかと考える。
- ・コーディネーターの進行が時間どおりでない事業はすべて同じ時間使って議論すべきである。三重のことがわかっていない人ばかりなので話にならない。
- ・構想日本の仕分けの反省をよくした方がいい。
- ・資料が分かりにくい。よくわからないというか事前に資料を読んだのなら、そうなることは明らか。実体のある議論のためには、事前に指摘して良かった。

- ・大都市の役所の人に地方の現場が理解出来るのか？こんなことに労力を使うのなら本業である職務に時間を使った方がいいのでは。
- ・金額に応じて時間を配分することも必要。金額が大きければ長時間でもいいが・・・弾力的に。
- ・他の方法は思いつかない。
- ・すべての事業は長くても10年以内に仕分けの対象にしながらかみ直してゆくべきだ。形式的なセレモニーになってしまわないように「公開」は大切。
- ・担当者の回答をさえぎって持論を述べようとする仕分け人の態度は見苦しかった。
- ・合理的な選択をもたらすに十分な議論とは言えない。
- ・事業の継続～不要等を判断するうえで、100ある判断資料の「1」にすぎないことを認識してほしい。
- ・国の仕分けの荒っぽさがあまり改善されていないように思いました。
- ・説明者が質問者の意図をしっかりと受け止めていない場面が多々ありました。
- ・費用対効果を述べてればとりあえず誰でも仕分け人がつとまるのかなあとも思った。費用対効果を越えた意見が（説明の方も）ききたかった。
- ・仕分け人の知識・認識での疑問。先入観など発言についての疑問。
- ・説明者の説明が的を絞っていないというか、もともとの視点が仕分け人と違うため、かみ合っていない。説明の仕方をもう少し事前に指導していただくとありがたいです。抽象的、あいまい。総論がないことが多く、いつまでたっても聞きたいことがわからない。

Q8 . 最後に、「公開仕分け」全体を通じてのご感想やご意見があれば、ご記入ください。

- ・結果の良否というより、公開でのもものさしにかかったことに意義が見られる。今回の40事業に限らず、さまざまな事業での議論が深まってほしい。但し、行政職員は萎縮してしまう必要は無いので、前向きに事業を推進されたい。
- ・今回は第1回目であり、職員の方もなれていないように思った。今後も引き続き継続していただき、改善・改革・廃止につないで欲しい。この場かぎりにしないように切に要望させていただきます。
- ・みなさまおつかれさまでした。
- ・事業シートの構成責任者の名前を書いた方がいいのでは？
- ・密室での予算査定のプロセスを「見える化」することの意義は大きいと思う。
- ・選定された「仕分け人の質」が鍵を握ると思いました。拝見させていただいたところ、質問や意見の切り口や捉え方がわかりやすく、鋭いご意見だと思いました。行政は日常から、事業の目的と成果を数字により見極め、事業改善を図ることが大切だと改めて認識しました。
- ・会場の距離（第2会場が少し遠い）
- ・具体的な効果等について数字、データで示すことが重要であると感じた。
- ・「公開仕分け」にかかる経費がもったいない。あの程度の上すべりの質問や指摘なら、大半の者ができる内容である。このようなパフォーマンスに税金を使うことがナンセンスである。

- ・ 予算査定におけるやりとりを公開すれば同じ効果があるのではないかと思う。
- ・ 成果・効果が民間企業であれば最終的に収益につながるのかと思いますが、行政の場合は「満足度」や「幸福度」など、数値に置き換えづらい部分があります。ただ明確な目標を定量的に設定されていないと費用対効果は測れないものであり、議論も表面上だけを上すべりしている場面があった様に思います。難しいと思いますが頑張ってください。
- ・ 職員の説明が非常にあいまいであると感じられた。三重県の現状をよく調査されている三重県議会の議員にこの作業をやってもらいたい。職員の積極性が伝わってこない。
- ・ 実施要項を冊子にのせるべき。
- ・ コーディネーターが公平性があるように思えない会場もあり、効果の信ぴょう性がとわれる。
- ・ 現場や地域の実態があまりに分かっていない人々が質問する内容、答えにより仕分けが進んでいくのはおかしい。
- ・ 仕分け人が笑っていると三重をバカにしているようで腹がたった。
- ・ 県民委員の発言が少ない。事前勉強をもっとやっておく必要があるのでは。県民委員の選び方に疑問あり。
- ・ 事業仕分けの資料はHPで入手可能なのだから傍聴者に分厚い冊子を配布する必要がないのではないか。
- ・ 仕分け人からの主たる質問については少なくとも一週間前には当局が正確な数字や実績が答弁できるような方策をとるべきである。傍聴人もその場で聞きたい。傍聴を無駄にしないでほしい。
- ・ 特定の仕分け人（特に構想日本からの）が時間の大半を持論、追求に終始し、一定の方向性に持っていこうとする場面が散見された。広く県民委員の意見を聞きたかったが、ふさいだ印象だった。
- ・ 最も多数の意見だったものをとりまとめ結果としているが、特にバラツキのあった結果は、判断にバラツキのあった状況を分析することが大切なので、バラツキはバラツキを結論とすべき。（無理やり一つに収束させるのは危険な場合が多い）
- ・ こうやって意見をきくのはいいけれど事業実施にまでおよぶのは納得がいかないと思った。
- ・ 無駄。外部の人に評価してもらわなくても自身でやれば良い。
- ・ 事業見直しにあたり、公開仕分けのように外部の意見を入れるのは良いことだと思う。参考とすべき意見も多く見られた。ただし、結果をそのまま何の検討もなしに反映させるのではなく、意見をふまえて事業内容を見直すというステップが必要であると感じた。
- ・ 何故このテーマが選ばれたかが不明。全体があつてこのテーマがあるはず。全体がわかるといい。
- ・ このテーマを選んだ趣旨がわかるといい。
- ・ 椅子が貧弱。長時間座っては仕分け人が気の毒。
- ・ 仕分け側の能力に？事前の仕分け方法についての打ち合わせが不足していたのでは。
- ・ 2 - 1 3 結論は初めから見えていた。各自の中に結論があつて仕分けにとりかかっていた。
- ・ 仕分け人にレベルの差あり。

- ・ 県職はもっと反論・反撃したらよいと思う。いいたいことあるだろうと思う。一つ一つの会場が遠すぎる。
- ・ 昼食のとりやすい会場にしてください。
- ・ 傍聴できて勉強になりました。
- ・ 県は県でやっているが、日本全体、県全体のビジョンが国民に浸透していないため、どの単位（国、県、市）で進めるものか、本来どこが主導すべきかと誰も把握している人がいない。国と県のコミュニケーションがないのかと思わせることだらけであった。プロジェクトマネジメントの手法は公務員全体で採用してもよいのでは。税金の節約にもつながると思われる。